

(3) 交差点・踏切

本町では、交差点 5 箇所、踏切 4 箇所の計 9 箇所、愛知県道路交通渋滞対策推進協議会により主要渋滞箇所を選定されている。その内、蟹江第 1 号踏切（近鉄）、佐古木第 4 号踏切（近鉄）、東郊線踏切（JR）は踏切自動車交通遮断量の過多等の理由から、国土交通省により緊急に対策の検討が必要な踏切として公表されている。

また、東郊線踏切（JR）については、踏切道改良促進法に基づき、改良すべき踏切道として平成 29 年 1 月に国土交通大臣の指定を受けている。

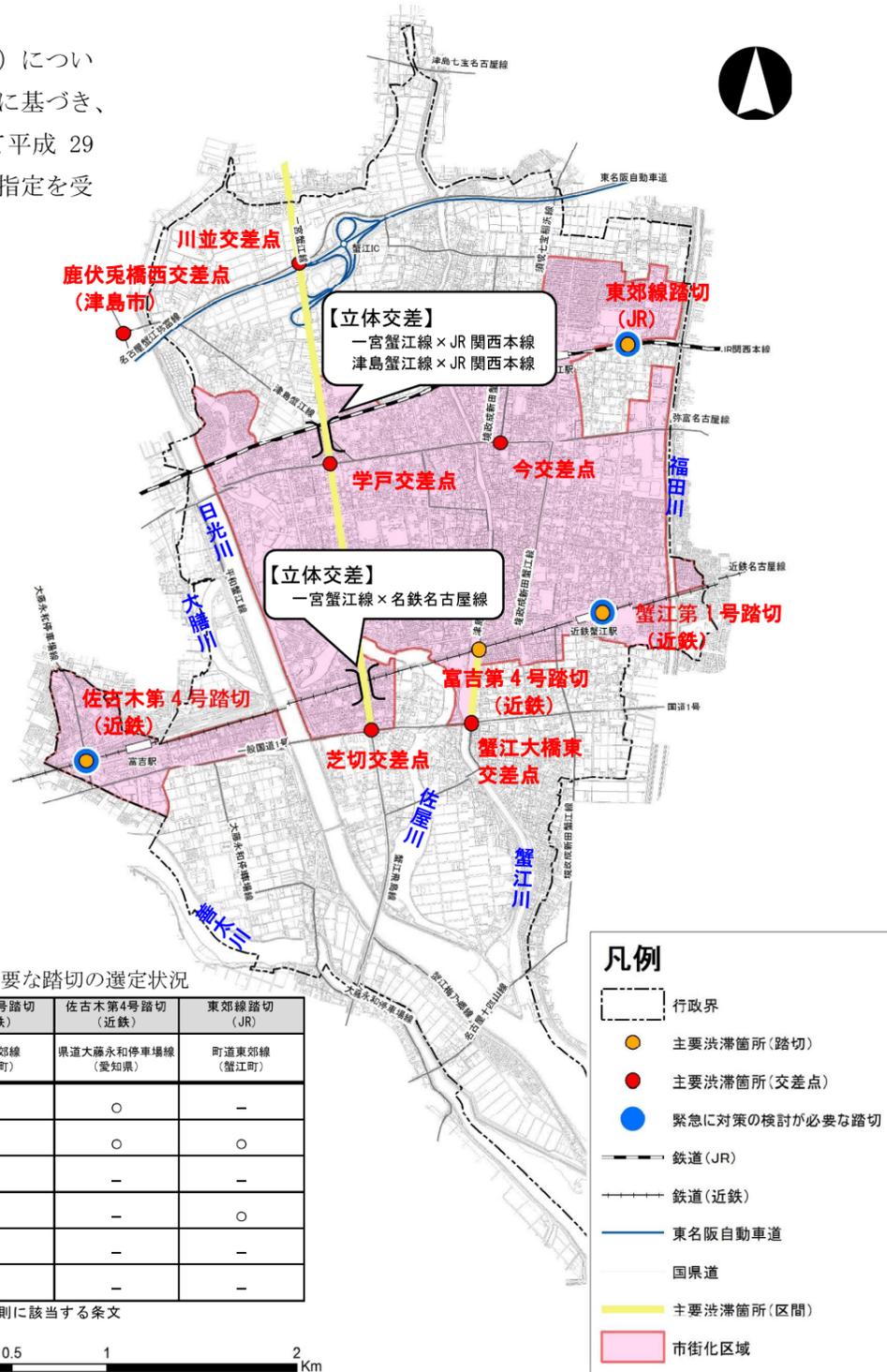


表 対策の検討が必要な踏切の選定状況

	蟹江第1号踏切 (近鉄)	佐古木第4号踏切 (近鉄)	東郊線踏切 (JR)
開かずの踏切 (第2条第3号)	○	○	—
自動車ボトルネック踏切 (第2条第1号)	○	○	○
歩行者ボトルネック踏切 (第2条第2号)	—	—	—
歩道狭路踏切 (第2条第4号、第5号)	—	—	○
通学路要対策踏切 (第2条第8号)	—	—	—
事故多発踏切 (第2条第7号)	—	—	—

※ () は改良踏切道改良促進法施行規則に該当する条文



図 主要渋滞箇所と緊急に対策の検討が必要な踏切の選定状況

資料：愛知県道路交通渋滞対策推進協議会、中部地方整備局

(4) 自動車保有台数・運転免許人口

自動車保有台数、世帯数ともに増加傾向にあるが、世帯当りの自動車保有台数は減少傾向にある。全国平均と比較すると自動車保有台数は多くなっているが、愛知県平均と比較すると世帯当りの自動車保有台数はやや低い。運転免許人口の内、高齢者の運転免許人口が増加しており、平成 29 年の時点で約 2 割を占めている。高齢運転者の割合は、全国平均、愛知県平均と比較すると、本町はやや低くなっている。

表 自動車保有台数と高齢運転者割合の比較

	自動車保有台数 (H28 年度)	高齢運転者割合 (H29)
蟹江町	1.35 台/世帯	20.3%
愛知県	1.40 台/世帯	21.0%
全国	1.06 台/世帯	22.1%

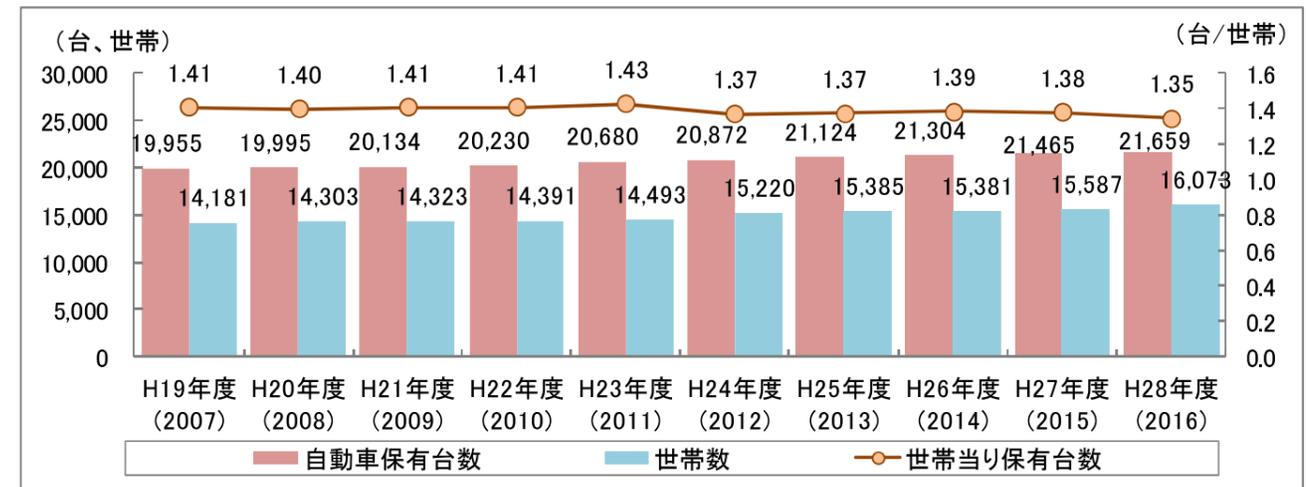


図 本町の自動車保有台数の推移

※普通乗用車（自家用）、小型乗用車（自家用）、軽自動車の合計
資料：愛知県統計年鑑（保有台数）、住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（世帯数）

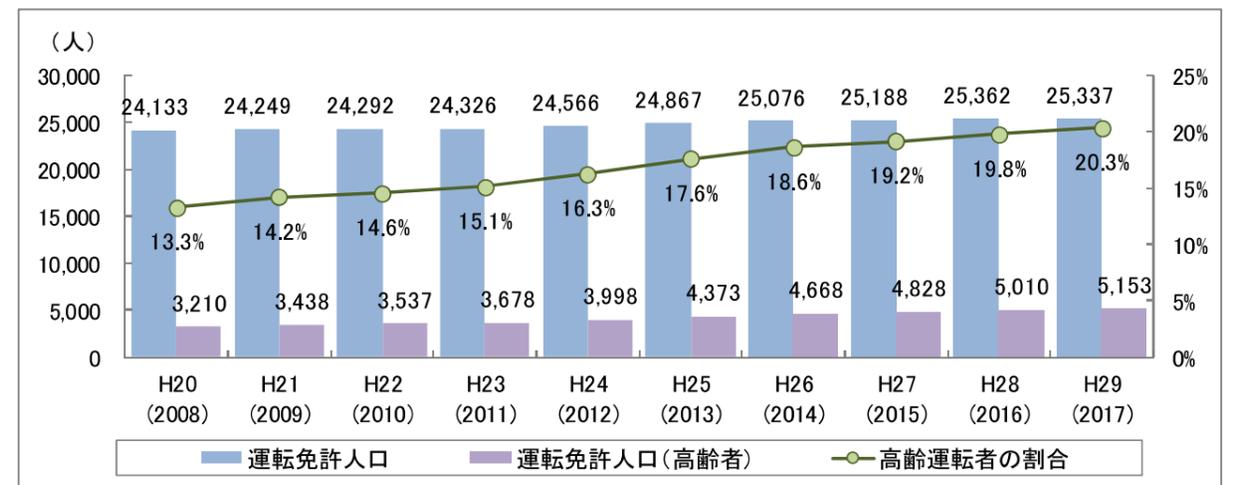


図 本町の運転免許人口の推移

※高齢運転者：65 歳以上
資料：愛知県警察 住所別年齢別運転免許人口